

今回は、ロボカップジュニア・ジャパンオープンの受賞報告です。

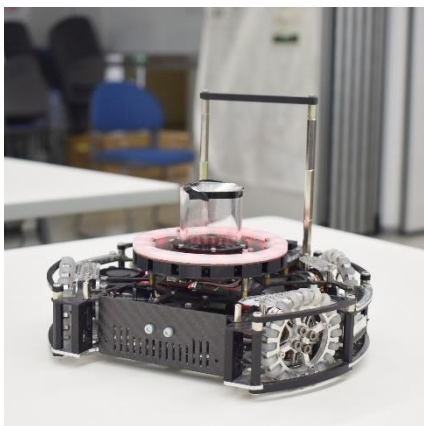
◇ 久留創さん（3年）が、美濃加茂市長、関市長を表敬訪問しました！

久留創さん（3年）が、藤井浩人美濃加茂市長（8月8日訪問）、尾関健治関市長（8月18日）のもとをそれぞれ訪れ、自作ロボットの性能を競う春の全国大会「ロボカップジュニア・ジャパンオープン2022 けいはんな」でのロボット学会賞受賞の報告をしました。

久留さんが出場したのは、あらかじめプログラミングしたロボットが、赤外線を放つボールをゴールへ運ぶサッカー競技です。72チーム中32位という競技結果でしたが、大会で今まで誰も使っていない取扱いの難しいモーターやバッテリーを採用したこと、インターネット上に開発情報を公開して誰でも観覧できるようにし、大会全体のレベルアップを目指したことが評価されて学会賞受賞にいたりしました。

久留さんは「受験を控えているので自分たちのチームでこの大会に出場するのは最後になります。力を入れていたモーターの開発と開発情報の公開が評価されたことが嬉しいです」と喜びを語りました。

工学部出身の藤井市長は、久留さんの操作するロボットの動きに目を輝かせ、矢継ぎ早に専門的な質問をされていました。美濃加茂市出身の久留さんは、小学6年の時も市長表敬をしたとのこと。藤井市長から「若い人の成長には驚かされます。嬉しいです」とのコメントをいただきました。



尾関市長からは「今回の学会受賞はとても素晴らしいことです。あえて難しいモーターを選び、情報を公開して全体のレベルアップを目指すという姿勢が印象に残りました。今後の活躍を期待しています」と、久留さんのチャレンジに対する称賛と激励の言葉をいただきました。

尾関市長からは「今回の学会受賞はとても素晴らしいことです。あえて難しいモーターを選び、情報を公開して全体のレベルアップを目指すという姿勢が印象に残りました。今後の活躍を期待しています」と、久留さんのチャレンジに対する称賛と激励の言葉をいただきました。



◇ 美濃加茂市のヤマザキマザック工作機械博物館を訪問しました！



8月24日、美濃加茂市内のヤマザキマザック工作機械博物館を訪問し、長江昭充館長の案内で博物館を見学しました。世界的に見ても珍しい工作機械・ものづくりに特化した博物館であり、日本の近代化、戦後復興や経済成長を支えた貴重な遺産を、専門家の案内で見学することができました。

さらに、最先端の工作機械についての説明もうかがい、貴重な体験となりました。エンジニアとしても活躍された長江館長は、ロボカップジュニアにも関心を示され、久留さんとの間で、活発な質疑応答がなされました。